

大気浮遊じんの放射能測定結果(平成24年度第4四半期分)

平成25年5月16日 公表

採取期間	測定結果		
	放射性ヨウ素	放射性セシウム	
	ヨウ素 131 I-131	セシウム134 Cs-134	セシウム137 Cs-137
	(mBq/m ³)	(mBq/m ³)	(mBq/m ³)
平成24年4月20日～4月27日	不検出 (検出限界値 0.020)	0.028	0.044
平成24年7月18日～9月20日	不検出 (検出限界値 0.011)	0.054	0.081
平成24年10月3日～12月18日	不検出 (検出限界値 0.020)	0.013	0.016
平成25年1月7日～3月12日	不検出 (検出限界値 0.013)	不検出 (検出限界値0.010)	0.019

【備考】

※大気浮遊じんの測定は、環境放射能水準調査（文部科学省からの受託事業）の一環で行っているものです。測定結果については、原子力規制委員会からも公表されます。

※測定結果欄の不検出とは、検出限界値未満であることを示しています。

(参考)

平成24年7月18日～9月20日に採取した試料の放射性セシウムの測定結果を基に吸入による成人の年間の被ばく線量（預託実効線量）を評価すると、0.000034mSv^(注)となり、自然の放射線による被ばく線量（世界平均：年2.4mSv（出典：UNSCEAR（2008）））と比較しても十分に低い値です。

- 1 採取場所…旧宮城県消防学校（仙台市宮城野区）
- 2 測定機関…宮城県原子力センター
- 3 分析装置…ゲルマニウム半導体検出器